

馬インフルエンザの発生（熊本県・帯広市など）について

2025年4月8日、熊本県の重種馬飼養農場3戸において馬インフルエンザの発生が確認されました。その後、帯広競馬場や北海道清水町などにおいても相次いで発生が確認され感染拡大が続いています。

本病は飛沫感染によって急速に伝播することから、馬の飼養衛生管理の徹底及び予防接種の励行により発生予防に努めるとともに、感染馬の早期発見・診断、隔離、移動の自粛、施設や器具の消毒等により感染拡大を防止することが重要です。

馬の管理者は健康観察を徹底し、発熱、呼吸器症状など、本病を疑う症状を確認した時は、ただちに獣医師に連絡してください。また、本病が疑われる場合は、当該馬群は他の馬群との接触を避けて飼養してください。

なお、国内での発生は2008年以来となり、2007年の流行時には人の移動に伴う感染の拡大と考えられる事例もあったことから、安易に異なる馬飼養施設に立ち入らない、立ち入る際には靴や上着を替える、手指や車両の消毒を徹底するなどの対策を心がけてください。

○馬インフルエンザ最新情報について

- ・ [軽種馬防疫協議会](#) 発生情報など
- ・ [日高家畜保健衛生所](#) 発生情報・衛生管理や消毒方法など

○馬インフルエンザの概要について

- ・ [馬の感染症（第5版 増補版）および馬感染症シリーズ「馬インフルエンザ」（第4版）](#)